



平成 19 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 宮入バルブ製作所
代 表 者 代表取締役社長 高井 洋
(コード番号 6495 東証第 2 部)
問 合 せ 先 総務部長 佐野邦男
(TEL 03-3535-5575)

(変更)平成 19 年 3 月期決算短信(非連結)の一部変更に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 16 日公表いたしました「平成 19 年 3 月期決算短信」(非連結)において監査法人と検討の結果、一部注記の箇所を下記のとおり変更いたしましたのでお知らせいたします。

なお、変更箇所には下線を付して表示しております。

記

変更箇所

平成 19 年 3 月期決算短信 (非連結) 第 17 頁

変更前

継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

前事業年度 (自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日)

該当事項はありません。

当事業年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

該当事項はありません。

変更後

継続企業の前提に関する注記

前事業年度 (自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日)

該当事項はありません。

当事業年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

当社は、当事業年度末において、1,347,994 千円の当期純損失を計上し、営業キャッシュフローも 822,836 千円のマイナスとなっており、継続企業の前提に関する重要な懸念を抱かせる状況となっております。

しかしながら当社は、この状況を解消すべく、以下の施策を実施いたしました。

1. 現行 15 億円のコミットメント契約による流動性確保とあわせて、総額 20 億円の転換社債型新株予約権付社債による資金調達の実施（平成 19 年 4 月 23 日に払込完了）及び予約権行使総額 50 億円の新株予約権の発行により、財務体質の安定化を行いました。
2. 平成 19 年 2 月以降では、新規の有価証券運用は行っておりませんが、平成 19 年 5 月 16 日開催の取締役会において、今後は短期的な売買益を目的とした有価証券の運用を行わないことを再確認する決議をしており、今後は同種の損失発生の可能性はありません。
3. かねてより計画していた東南アジア展開戦略の早期実施を含む 3 ヶ年経営計画による収益力向上を計画しております。

このような施策により、当社は当初の懸念は解消するものと判断して、継続企業的前提下で財務諸表を作成しております。

以上